

遠阪トンネル有料道路の老朽化対策等に関する有識者会議

設立趣旨

遠阪トンネル有料道路（以下「遠阪トンネル」。）は、兵庫県道路公社が管理する一般有料道路（自動車専用道路）であり、本県の基幹道路八連携軸として高速道路ネットワークを形成している。

遠阪トンネルは、国道427号の難所であった遠阪峠をトンネルでバイパスしており、北近畿豊岡自動車道と一体となって但馬地方と丹波、阪神地方の「産業の活性化」、「地域間交流の促進」などに大きく寄与している。また、災害時の緊急輸送道路に位置づけられるなど、安全・安心で豊かな暮らしを支える本県の大動脈として重要な役割を担っている。

遠阪トンネルは、昭和52年に供用を開始し、平成18年に北近畿豊岡自動車道と接続している。北近畿豊岡自動車の接続後に交通量は大幅に増加し、平成30年の日あたり交通量は約8,700台となり、接続前に比べて約2.6倍になっている。

遠阪トンネルでは、全線の約6割の区間が橋梁・トンネルといった道路構造物で構成されており、供用後46年以上を経過するなかで、近接点検などによって道路構造物やトンネル設備の経年劣化による損傷が明らかとなっている。

このような状況において、自動車専用道路に求められる管理水準を維持していくための対策が喫緊の課題となっている。

そこで、遠阪トンネルをこれからも健全な状態で管理していくため、構造物やトンネル設備の修繕・更新等の必要性、並びに必要な財源確保手法等について、本会議を設立し、学識経験者や道路利用者の方々の御意見、御提言をいただくものである。

令和5年12月22日

兵庫県
兵庫県道路公社